

立派な仏像だね

く木造十二面観音立像一般公開

（こし）道の有形文化財に指定された町内香川の金宝院（廃院）に所蔵されていた木造十二面観音立像が八月十一日（土）から十五日の五日間、役場ロビーで一般公開され、関心の深い人達が大勢訪れ熱心に見入った。観覧者は二五〇人（町内九七人、町外一五三人）で、テレビ



また静かな仏像ブームもあり、二〇歳〜三〇歳位の女性も目立った。観覧者から「立派な仏像だね」という声が多く聞かれました。

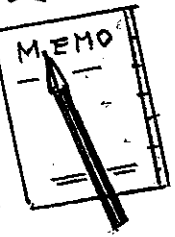


昔前の歴史って古いんだなあ

古小四年生が歴史探検

学社融合事業の一環として毎年実施している小学生の町内史跡めぐりが九月十八日（火）行われた。今回は古丹別小学校の四年生二十一名が香川の水田発祥の地や陳屋の跡、下町の寺子屋跡と煙上屋跡、上町の古長役場跡。最後は郷土資料館を見学した。

講師は郷土史研究会副会長の松岡満雄さんと会員の西大志さん。わかりやすい説明に見事たちは熱心にメモをとったり活発に質問などをしていった。みんな初めての体験であり「昔前の歴史ってとっても古いんだなあ」と感動を味わっていた。



郷土史研究会に横野さん西さんが入会
 このたび郷土史研究会に昔前の横野政美さんと古丹別の西大志さんが入会してくださり、同研究会も総数16名となり今後の活動に益々充実さが加わりました。どなたでも入会してください。お待ちしております。

ひくま事件のDVD 予想以上の売れゆき!

ひくま事件のDVDが10月末で約120枚の売れゆきで予想以上の好調である。DVDの内容は16枚の絵で事件の概要をまとめた手作り紙芝居(10分) 1993年11月の町文化祭で収録された獅子舞のダイジェスト版(10分) 事件に関する町内のモニュメントや郷土資料館の展示物を紹介する資料編(2分)の3部構成で、定価は1枚千円(税込み)とままえ温泉ふわっとで販売されている。

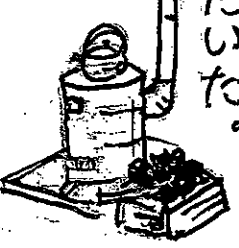


収益は、獅子舞を子供たちに伝承する町くま獅子保存会と郷土史研究会の活動費に充てられます。

巡回展「炭鉱は生きている」

懐かしいなあ

郷土資料館で開催された道北地区博物館等連絡協議会の巡回展「炭鉱は生きている」が大好評であった。期間は七月二十四日（火）から八月十九日（日）までの二十七日間で、九二六人（町内二八八人、町外八八八人）の来館者があった。展示内容は、石炭、泥炭標本、説明パネル、羽幌炭鉱のDVDなど。以前、昔前町内の小川地区にあった炭鉱の概要や開山準備の手紙も独自に展示。展示内容は、石炭、泥炭標本、説明パネル、羽幌炭鉱のDVDなど。以前、昔前町内の小川地区にあった炭鉱の概要や開山準備の手紙も独自に展示。展示内容は、石炭、泥炭標本、説明パネル、羽幌炭鉱のDVDなど。以前、昔前町内の小川地区にあった炭鉱の概要や開山準備の手紙も独自に展示。



入館者が約千人も増

郷土資料館が五月のオープンから十日三日閉館までの入館者が昨年の二千七百三十一人より約千人も増え三千七百九十一人となった。三毛別熊事件の熊を射止めた山本兵吉の曾孫という人や明景家（犠牲者）の子孫という人も（贈本を申し）来館した。☆フリーの中で昔前町の資料館のことを聞き道東へ行く途中に寄ったという人。

☆また北海道の歴史を研究している札幌在住の室利伸久さんご夫妻から親切丁寧な説明を受けたとして温かい札状もいただいた。

☆「お願い」として「古代の里」へのゴミ捨てが相変わらぬほど、絶対捨てないでほしいと話していました。

☆昔前町文化協会が創立40周年を迎えました。伝統文化の継承、新しい文化の創造など町民総参加で潤いのある生活を感じてほしいかがでしようか。